

平成30年度 書道一般 シラバス

科目名	単位数	対象学年・コース	履修
書道一般	2単位	3年 普通科(1・2・3・4組)より選択者のみ	選択 B
教科書 主な教材	・ビデオ、資料集、プリント等		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・書道の創造的な諸活動を通じて、生涯にわたり書を愛好する心情と書の文化や伝統を尊重する態度を育てる ・感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める 		
評価の観点	① 関心、意欲、態度 ② 芸術的な感受や表現の工夫 ③ 創造的な表現の技能 ④ 鑑賞の能力		
評価の方法	① 学習活動への参加のしかたや態度 ② 「学習ノート」の記入状況 ③ 作品ファイルの整理状況 ④ 「学習のまとめ」の内容 ⑤ 提出作品 ※上記のような評価方法を用いて、評価の4つの観点で総合的に評価する		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業はチャイムと同時に始めるので、用具を準備し着席していること ・用具は大切に扱い、特に、筆と硯はきれいに洗うこと ・次の人の為に、片付けはきちんとすること 		

年間学習計画

学期	月	単元名	学習のねらい	学習内容
一学期	4	書之美を求めて	・書道Ⅲの学習への導入を図り学習態度を整える	・「書の伝統と文化」をテーマとして、芸術の位置づけや意義について考える
	5	漢字の書の学習 ①篆書・隸書	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の時代背景や各古典の主な特徴を理解する ・篆書のもつ特性や美について理解を深める ・古代文字特有の複雑な構造に興味をもたせる ・隸書の時代背景や各古典の主な特徴を理解する ・興味、関心に基づく古典を選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ鑑賞 『篆書のレッスン』 ・古典の鑑賞と臨書 甲骨文・金文 泰山刻石 漢代木簡 張遷碑 ・学んだ書の中から選び臨書
		②楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の時代背景や古典について、鑑賞、臨書し特徴を理解する ・方筆の書法を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の古典作品の鑑賞と臨書 高貞碑 雁塔聖教序
	6	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の特徴を理解し、その趣を生かした表現を学ぶ ・書式に関する知識、理解をもって書くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書の作品と鑑賞 ・履歴書を書く ・筆ペンを使う

学期	月	単元名	学習のねらい	学習内容
一学期	7	漢字の書の学習 ③行書・草書	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の時代背景や古典について、鑑賞、臨書し特徴を理解する ・草書の時代背景や古典について、鑑賞、臨書し特徴を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の古典作品の鑑賞と臨書 中秋帖 孔侍中帖 ・草書の古典作品の鑑賞と臨書
二学期	9		<ul style="list-style-type: none"> ・尺牘について特徴を学ぶ ・興味、関心に基づく古典を選択 	<ul style="list-style-type: none"> 書譜 三筆の書
	10	仮名の書の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日本固有の仮名について理解を深める ・仮名の構成について理解する ・創作の手順を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ学習 『仮名のレッスン』 ・古筆の鑑賞と臨書 高野切二種 秋萩帖と良寛 ・扇に書く ・マーブリング
		篆刻・刻字の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻 刻字の関心を高める ・作品制作への意欲をもたせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ鑑賞 『篆刻』 『楽しい刻字』
	11 12	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和 ・年賀状を書くことにより、新しい年を迎える季節感や年中行事に興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状を書く ・筆ペンを使う
三学期	1 2	作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・書道Ⅰ、Ⅱの学習を基に書 篆刻 刻字の中から自分の好きな作品を楽しく作る ・制作した作品を自分で表装し作品の制作技法を習得する ・これまでの学習の成果を作品として発表することにより、新たに自己を客観的にみつめるに見つめる。(ロビーに展示) 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な作品の着想と構想 ・詩文の選別 草稿制作 ・裏打ち パネル作成 ・作品展示 ・互評会 ・自己評価
<p>[課題、提出物等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 毎時間の学習内容は、「学習ノート」に記録する ② 課題に応じて作品を提出する ファイルに入れて整理する ③ 学習ノートとファイルをもとに「学習のまとめ」を行い、自己評価する 				